



日・アゼルバイジャン経済関係概観

2026年9月
在アゼルバイジャン日本国大使館

貿易高

【貿易高】23年100.8億円 24年122.9億円 25年110.4億円

【主要品目】

日本からの輸出：鉄鋼、自動車、機械、タイヤ等（25年86.8億円）

日本への輸入：アルミ合金、黒鉛、ワイン等（25年23.6億円）

進出日系企業

【進出日系企業数】18社（2024年10月時点）

【主な進出企業】

INPEX、伊藤忠商事、JTI、トヨタ・コーカサス等。

その他、貿易、小売・卸売、農業等の分野で日系企業が活動。

日本企業はINPEXがACG油田に9.31%、BTCパイプラインに2.5%の権益を保有。

経済合同会議

両国間の経済・貿易等の関係発展に関する協議体。

これまでに計12回開催（前回：2025年9月東京）。日本側議長は伊藤忠商事が、アゼルバイジャン側議長は第12回会議よりSOCAR総裁が務める。

日本による援助実績

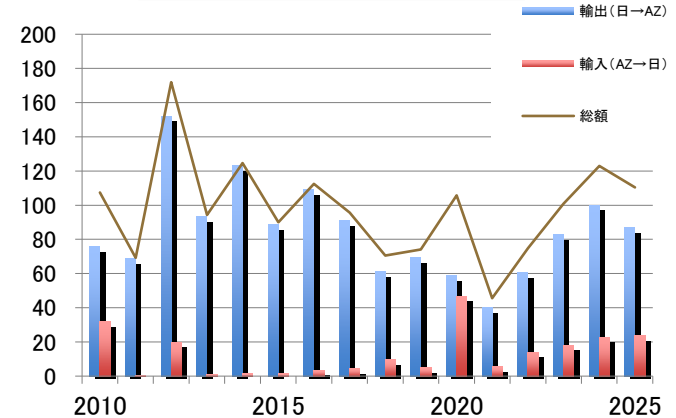
【経済協力の累計総額】約1,154億円（2023年9月時点）

【主な経済協力案件】

1. 円借款
 - ・セヴェルナヤ1ガス火力複合発電所建設（約390億円）
 - ・シマルガス火力複合発電所第2号機建設（約290億円）
 - ・地方都市上下水道整備（約330億円）
2. 無償資金協力：緊急医療機材整備、土地改良・灌漑機材整備等
3. 草の根・人間の安全保障無償資金協力：診療所建設、幼稚園建設、灌漑設備設置、給水設備設置等（累計287件、約2,425万米ドル）

貿易高推移

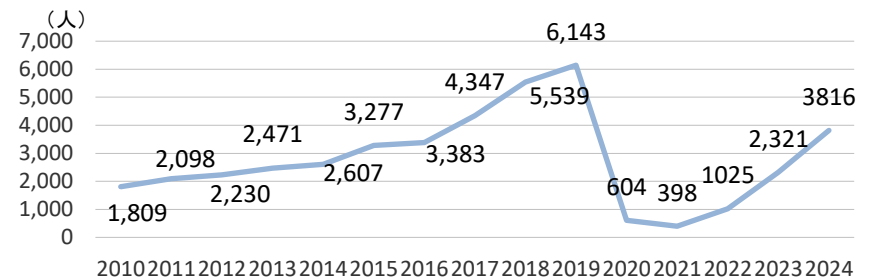
（単位：億円） 日・アゼルバイジャン貿易高推移



日本人来訪客数

アゼルバイジャンへの日本人来訪者

（2010～2025、単位：人、出所：国家統計委員会）



2016年12月のアゼルバイジャン政府による査証取得要件の緩和や日本国民を含む空港でのアライバルビザ付与開始によって、当国への日本人来訪者数は増加。コロナ禍で大幅に減少したものの、来訪者数は回復傾向にある。